

令和5年6月15日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和5年4月～6月期実績、令和5年7月～9月期見通し)

《1》 調査時点 令和5年6月5日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
144企業 (回答率96%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	27	2	2	3	3	10	9	8	9	4	4	27
建設業	26	2	2	3	3	13	12	5	5	3	3	25
小売業	33	9	9	2	2	11	9	9	8	2	2	30
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	8	5	5	7	6	0	0	0	0	19
サービス業	22	2	2	2	2	12	11	3	3	3	3	21
合計	150	30	30	17	17	59	53	31	31	13	13	144

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感  
⑥従業員の数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと  
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和5年4～6月期実績】

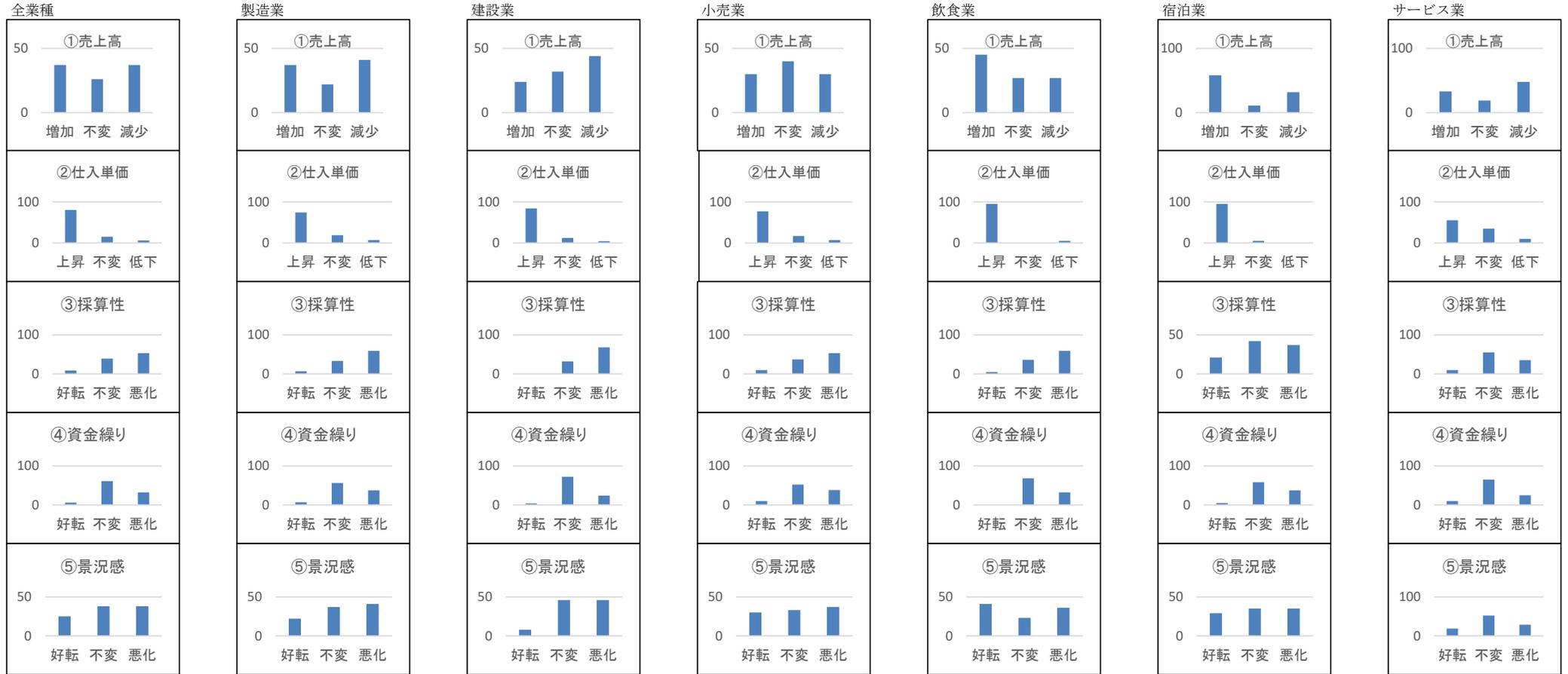
(1)	全業種の売上高DIは、▲5（前期▲5）と横ばいとなった。
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、サービス業はポイントが上昇し、小売業、飲食業、宿泊業は低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、（前期76→）72（前期比4ポイント好転）となりマイナス幅がやや縮小した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、サービス業はポイントがやや上昇し、建設業、小売業、飲食業、宿泊業はやや低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、（前期▲48→）▲39（前期比9ポイント好転）となりマイナス幅がやや減少した。
	業種別採算性DIは、製造業、建設業、小売業、サービス業はポイントが上昇し、飲食業、宿泊業は低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、（前期▲26→）▲24となり（前期比2ポイント好転）となりマイナス幅がやや縮小した。
	業種別資金繰りDIは、製造業、建設業、小売業、サービス業はポイントが上昇し、飲食業、宿泊業は低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、（前期▲19→）▲15（前期比4ポイント好転）となりマイナス幅がやや縮小した。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、サービス業はポイントが上昇し、建設業、飲食業、宿泊業は低下した。

【令和5年7～9月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲1となり4ポイントマイナス幅が縮小する見通し。（好転）
	業種別売上高DIは、製造業、小売業、宿泊業が上昇し、建設業、飲食業で低下する見通し。サービス業は横ばい。
(2)	全業種の仕入単価DIは、73となり、ほぼ横ばい。（好転）
	業種別仕入単価DIは、建設業、飲食業が上昇し、製造業、サービス業で低下の見通し。小売業、宿泊業は横ばい。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲34となり5ポイントマイナス幅が縮小する見通し。（好転）
	業種別採算性DIは、製造業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業、小売業、飲食業は低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲27となり3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。（悪化）
	業種別の資金繰りDIは、宿泊業が上昇し、建設業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。製造業は横ばい。
(5)	全業種の景況感DIは、▲3となり12ポイントマイナス幅が縮小する見通し。（好転）
	業種別の景況感DIは、製造業、建設業、飲食業、宿泊業が上昇し、小売業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（令和4年4月～6月）と比べた今期（令和5年4月～6月）の状況



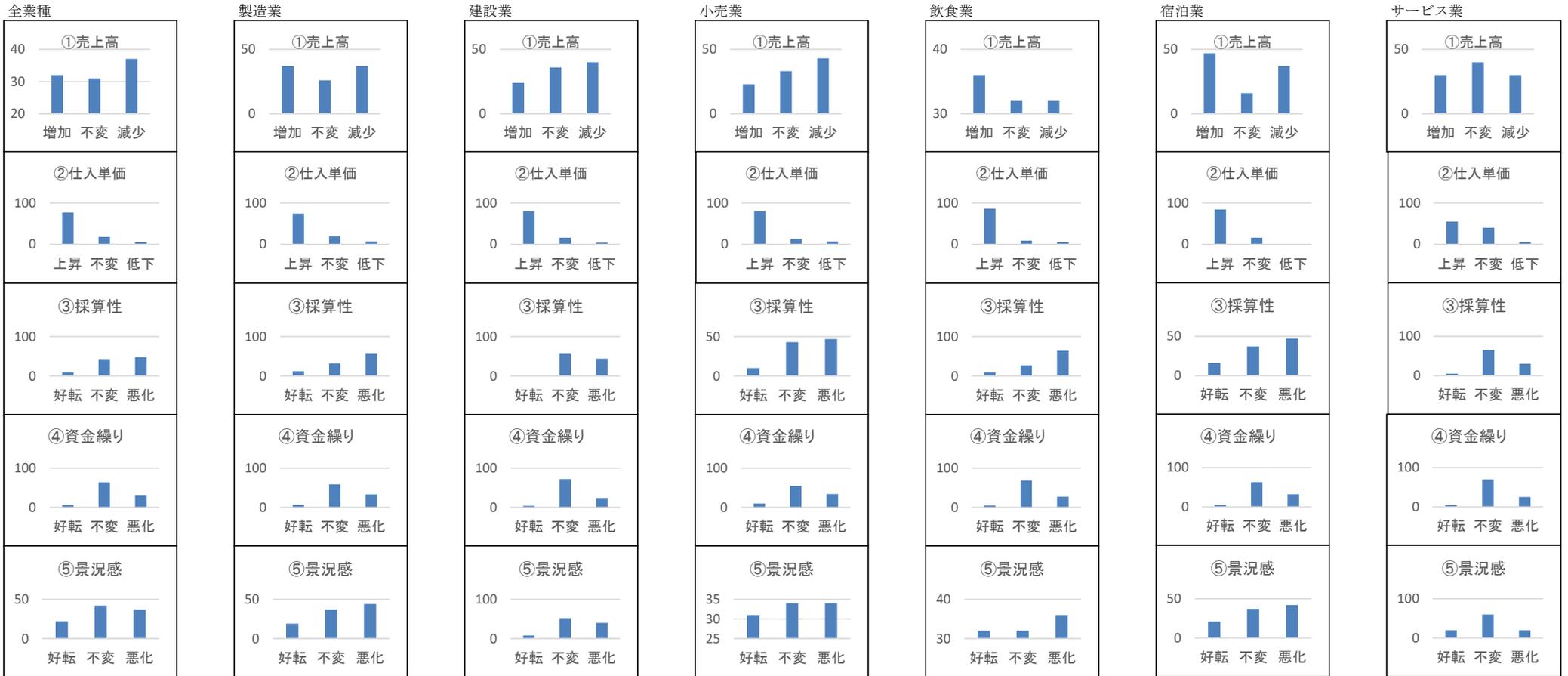
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	0	▲ 4	▲ 20	0	18	26	▲ 15
仕入単価	74	67	80	70	90	95	45
採算性	▲ 44	▲ 52	▲ 68	▲ 43	▲ 54	▲ 16	▲ 25
資金繰り	▲ 26	▲ 30	▲ 20	▲ 28	▲ 32	▲ 32	▲ 15
景況感	▲ 13	▲ 19	▲ 38	▲ 7	5	▲ 6	▲ 10

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和5年1月～3月）と比べた今期（令和5年4月～6月）の状況



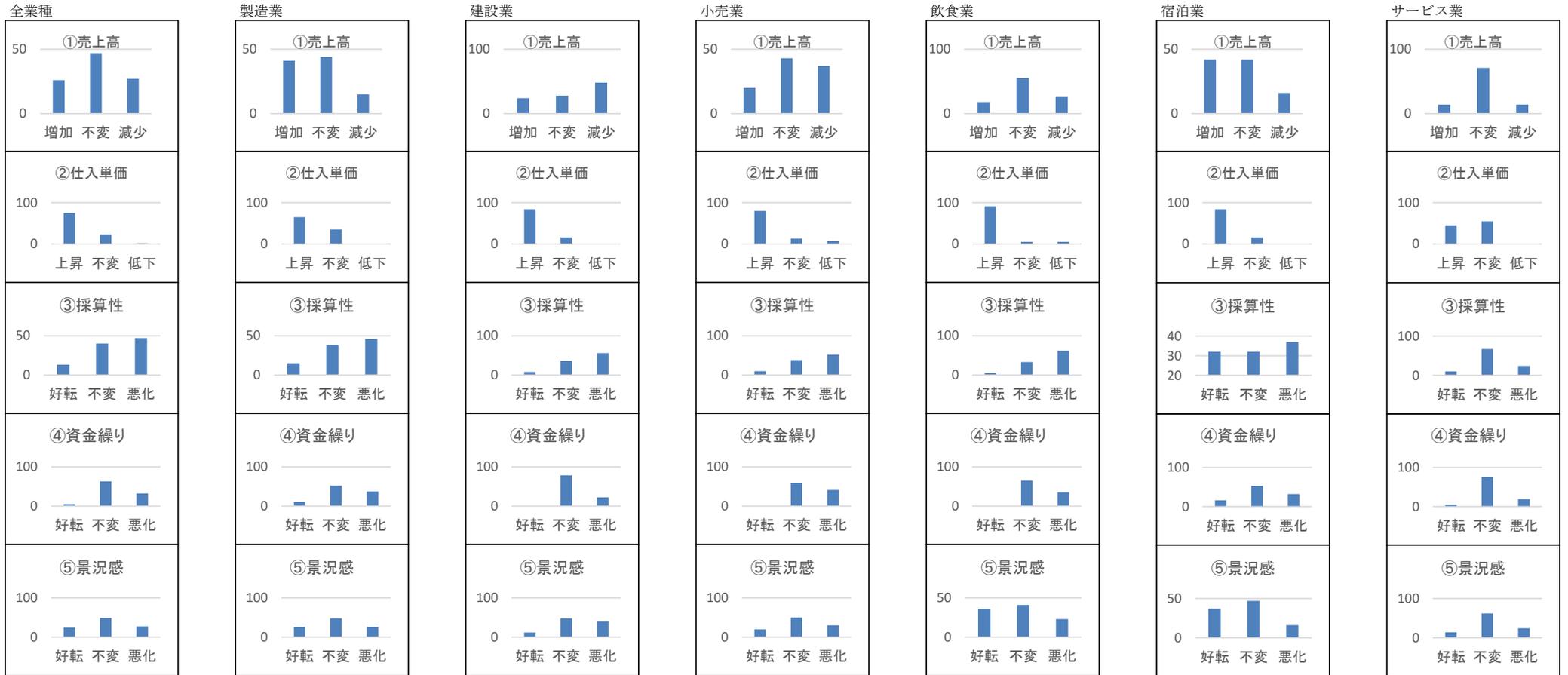
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 5	0	▲ 16	▲ 20	4	10	0
仕入単価	72	67	76	73	81	84	50
採算性	▲ 39	▲ 44	▲ 44	▲ 37	▲ 55	▲ 31	▲ 25
資金繰り	▲ 24	▲ 26	▲ 20	▲ 24	▲ 22	▲ 27	▲ 20
景況感	▲ 15	▲ 25	▲ 32	▲ 3	▲ 4	▲ 21	0

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和5年4月～6月）と比べた来期（令和5年7月～9月）の見通し

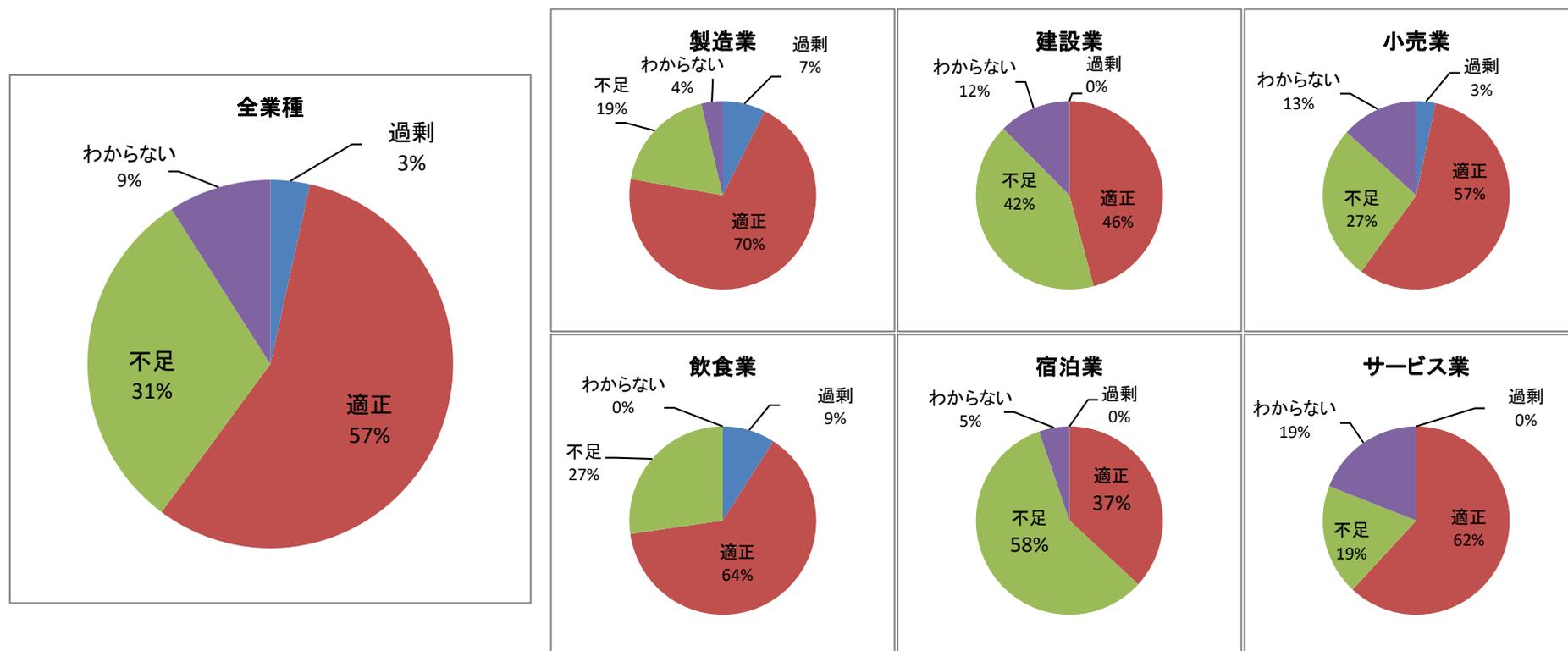


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 1	26	▲ 24	▲ 17	▲ 9	26	0
仕入単価	73	65	84	73	86	84	45
採算性	▲ 34	▲ 31	▲ 48	▲ 42	▲ 57	▲ 5	▲ 14
資金繰り	▲ 27	▲ 26	▲ 22	▲ 41	▲ 35	▲ 16	▲ 14
景況感	▲ 3	0	▲ 28	▲ 10	13	21	▲ 10

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期 (R 5. 4～6月)

⑥従業員の数 (件数)	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
過剰	5	3.5%	2	7.4%	0	0.0%	1	3.3%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
適正	81	56.6%	19	70.4%	11	45.8%	17	56.7%	14	63.6%	7	36.8%	13	61.9%
不足	44	30.8%	5	18.5%	10	41.7%	8	26.7%	6	27.3%	11	57.9%	4	19.0%
わからない	13	9.1%	1	3.7%	3	12.5%	4	13.3%	0	0.0%	1	5.3%	4	19.0%
合計	143		27		24		30		22		19		21	

対前期比（R5.1～3月）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	2.9%	0.6	8.0%	-0.6	0.0%	0.0	0.0%	3.3	4.8%	4.3	6.3%	-6.3	0.0%	0.0
適正	55.4%	1.2	56.0%	14.4	48.0%	-2.2	62.5%	-5.8	66.7%	-3.1	31.3%	5.5	60.0%	1.9
不足	32.4%	-1.6	32.0%	-13.5	36.0%	5.7	31.3%	-4.6	28.6%	-1.3	37.5%	20.4	30.0%	-11.0
わからない	9.4%	-0.3	4.0%	-0.3	16.0%	-3.5	6.3%	7.0	0.0%	0.0	25.0%	-19.7	10.0%	9.0

【実績】

全業種で見ると、従業員の人数は「適正」と回答した経営者が最も多く全体の56.6%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、30.8%である。前期比較では大きな変化は無く、「適正」が1.2ポイント上昇、「不足」は1.6ポイント低下、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が70.4%と最も多く、全業種で「適正」割合が最も高い。前期比較では「適正」が14.4ポイント上昇。

（建設業）「適正」と回答した経営者が45.8%と最も多いが、前期比較では2.2ポイント低下。  
「不足」と認識している経営者も41.7%と多く、全業種で宿泊業に次いで高い割合で「不足」と回答された業種となった。

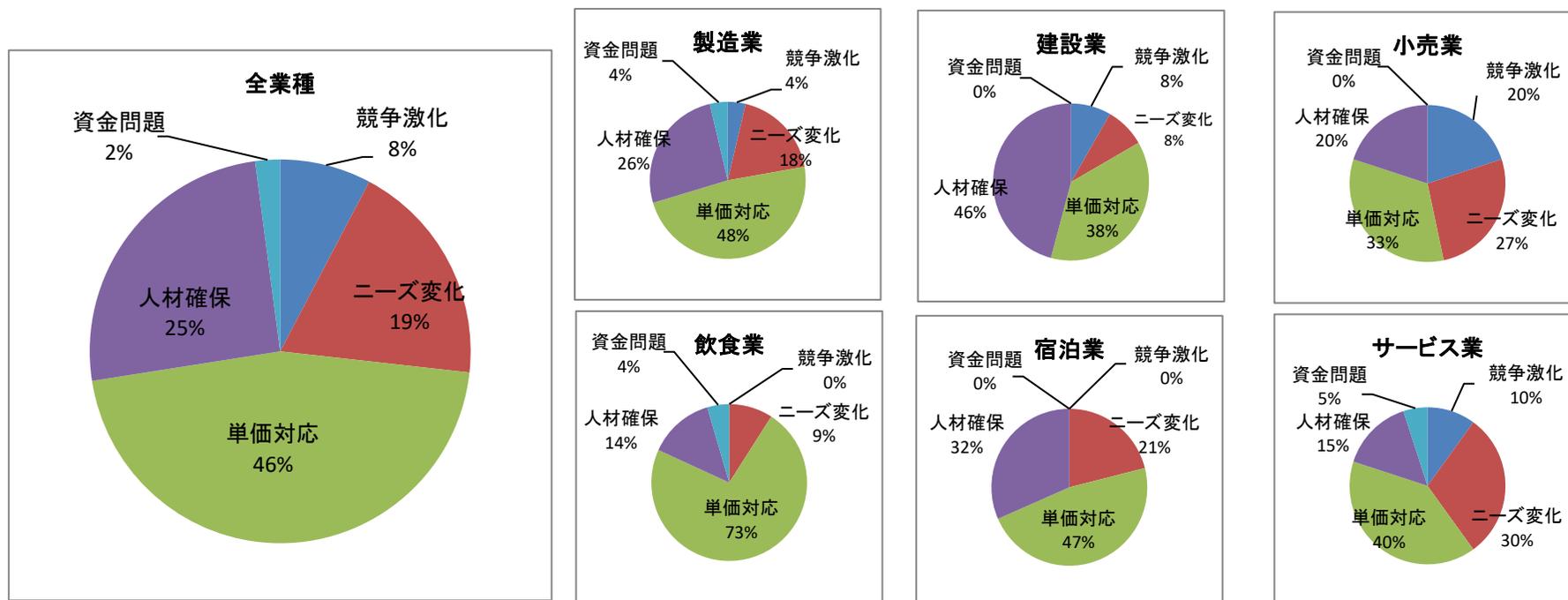
（小売業）「適正」と回答した経営者が56.7%と最も多いが、前期比較では5.8ポイント低下。

（飲食業）「適正」と回答した経営者が63.6%と最も多いが、前期比較では3.1ポイント低下。  
一方で「過剰」と回答した経営者が9.1%と少ないが、前期比較では4.3ポイント上昇。

（宿泊業）「不足」と回答した経営者が57.9%と最も多く、全業種で「不足」割合が最も高い。前期比較では20.4ポイント上昇。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が61.9%と最も多いが、前期比較では1.9ポイントの上昇で大きな変化はない。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R 5. 4～6)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
大手企業 (大型店) 進出、インターネット普及による販売競争の激化	11	7.7%	1	3.7%	2	8.3%	6	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	競争激化
消費者 (製品) ニーズ変化への対応	27	19.0%	5	18.5%	2	8.3%	8	26.7%	2	9.1%	4	21.1%	6	30.0%	ニーズ変化
仕入単価 (原材料) の上昇、販売受注単価の低下	65	45.8%	13	48.1%	9	37.5%	10	33.3%	16	72.7%	9	47.4%	8	40.0%	単価対応
必要な人材の雇用確保	36	25.4%	7	25.9%	11	45.8%	6	20.0%	3	13.6%	6	31.6%	3	15.0%	人材確保
事業資金の借入難	3	2.1%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%	1	5.0%	資金問題
合計	142		27		24		30		22		19		20		

対前期比（R5.1～3）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	7.2%	0.5	0.0%	3.7	0.0%	8.3	25.0%	-5.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	10.0%	0.0	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	20.3%	-1.3	20.0%	-1.5	16.7%	-8.4	18.8%	7.9	9.5%	-0.4	25.0%	-3.9	35.0%	-5.0	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	49.3%	-3.5	60.0%	-11.9	41.7%	-4.2	40.6%	-7.3	81.0%	-8.3	43.8%	3.6	30.0%	10.0	単価対応
必要な人材の雇用確保	23.2%	2.2	20.0%	5.9	41.7%	4.1	15.6%	4.4	9.5%	4.1	31.3%	0.3	25.0%	-10.0	人材確保
事業資金の借入難	0.0%	2.1	0.0%	3.7	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	4.5	0.0%	0.0	0.0%	5.0	資金問題

### 【実績】

全業種でみると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」と認識する経営者が最も多く49.3%の割合となった。次いで「必要な人材の確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」の結果となった。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が48.1%となり、7期連続で最も多いが、対前期比ではやや低下した。次いで「必要な人材の雇用確保」が25.9%であった。

（建設業）「必要な人材確保」が45.8%であった。対前期比では、4.1ポイントの上昇、「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が対前期比では4.2ポイント低下しているが、37.5%の回答があり依然として高い割合となった。

（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が33.3%となり、5期連続で最も多いが、対前期比では7.3ポイント減少した。次いで「消費者（製品）ニーズ変化への対応」では対前期比7.9ポイント上昇し、26.7%となった。

（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が72.7%となり、7期連続で最も多く、業種別でも最も高い割合となった。

（宿泊業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が47.4%となり、6期連続で最も多く、対前期比でも3.6ポイント上昇した。次いで「必要な人材の確保」が31.36%となった。



対前期比（R5.1～3）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	11.5%	0.4	8.0%	-4.3	8.0%	4.5	15.6%	4.4	19.0%	-4.7	0.0%	0.0	15.0%	4.0	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	21.6%	7.1	24.0%	13.0	24.0%	-15.7	15.6%	17.7	33.3%	4.8	6.3%	4.8	25.0%	17.9	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	13.7%	-1.8	20.0%	-5.2	12.0%	0.5	15.6%	-2.3	9.5%	0.0	18.8%	-7.7	5.0%	4.5	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	12.2%	-0.3	8.0%	-0.6	16.0%	4.8	15.6%	-5.6	14.3%	4.7	0.0%	16.7	15.0%	-15.0	インボイス対策
人材育成、社員教育	22.3%	-2.0	16.0%	13.6	36.0%	1.5	28.1%	-14.8	4.8%	0.0	31.3%	-14.6	15.0%	4.0	人材育成
設備の入替・更新	18.7%	-4.7	24.0%	-16.6	4.0%	4.3	9.4%	0.6	19.0%	-4.7	43.8%	0.6	25.0%	-15.5	設備入替

### 【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が7.5ポイント上昇の29.1%で最も多かった。次いで「人材育成、社員教育」が1.7ポイント低下の20.6%となった。「SDGsの取組み、推進宣言事業の登録等」の設問は今回が初のため、対前年同期比は記載なし。

（製造業）「業務の効率化、仕事の見える化」が13.0ポイント上昇し37.0%となった。  
次いで「人材育成、社員教育」が29.6%で対前期比13.6ポイントと大きく上昇した。

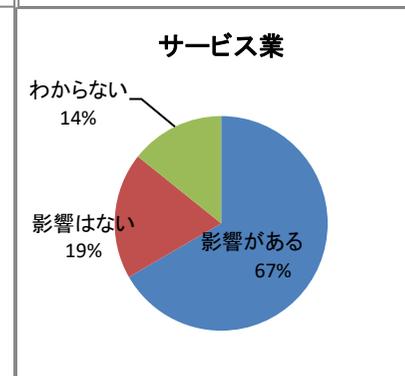
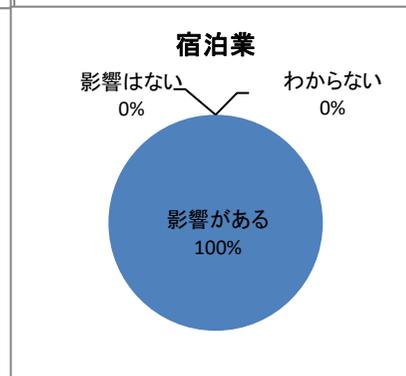
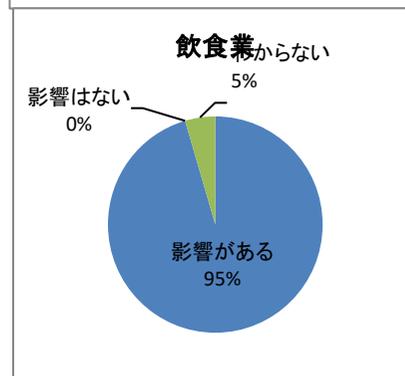
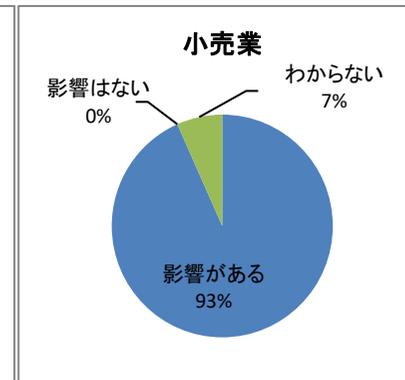
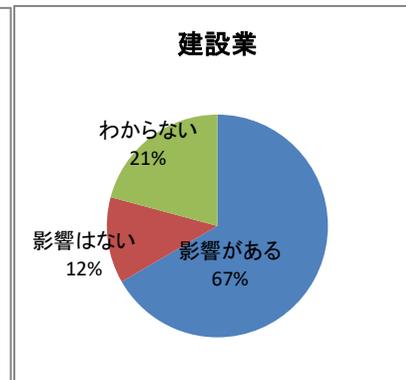
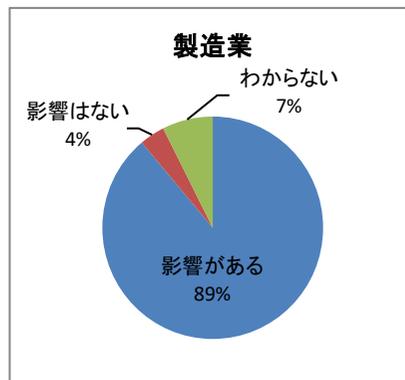
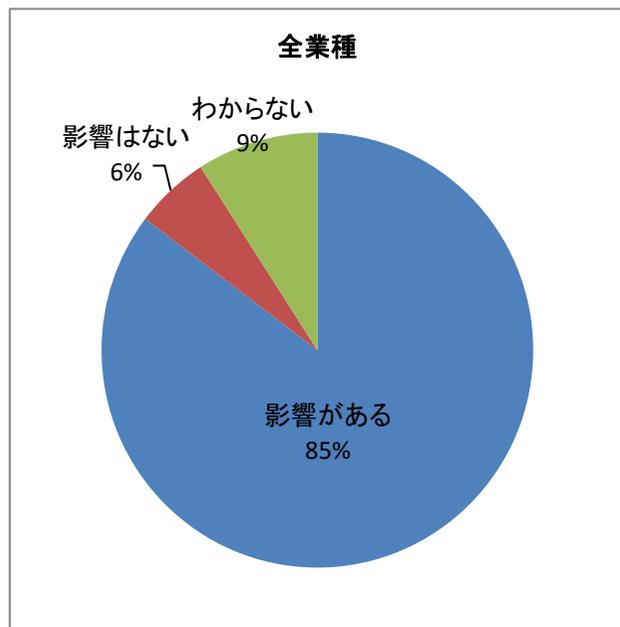
（建設業）「人材育成、社員教育」が1.5ポイント上昇し37.5%と前期に続き最も多かった。  
次いで「インボイス制度対策、会計管理の見直し」は20.8%であり、4.8ポイント上昇した。

（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が17.7ポイント上昇し、33.3%であった。  
次いで、「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」が4.4ポイント上昇し、20.0%となった。

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が4.8ポイント上昇し、38.1%と前期に続き最も多かった。  
次いで、「インボイス制度対策、会計管理の見直し」が4.7ポイント上昇し、19.0%となった。

（宿泊業）「設備の入替・更新」が0.6ポイント上昇し44.4%と前期に続き最も多かった。次いで「人材育成、社員教育」（対前期比14.6ポイント低下）、  
「インボイス制度対策、会計管理の見直し」（対前期比16.7ポイント上昇）が共に16.7%となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期（R5.4～6）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
影響がある	122	85.3%	24	88.9%	16	66.7%	28	93.3%	21	95.5%	19	100.0%	14	66.7%
影響はない	8	5.6%	1	3.7%	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	19.0%
わからない	13	9.1%	2	7.4%	5	20.8%	2	6.7%	1	4.5%	0	0.0%	3	14.3%
合計	143		27		24		30		22		19		21	

影響がある  
影響はない  
わからない

対前期比（R5.1～3）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	87.1%	-1.8	92.0%	-3.1	84.0%	-17.3	87.5%	5.8	100.0%	-4.5	93.8%	6.2	65.0%	1.7
影響はない	5.8%	-0.2	8.0%	-4.3	0.0%	12.5	6.3%	-6.3	0.0%	0.0	0.0%	0.0	20.0%	-1.0
わからない	7.2%	1.9	0.0%	7.4	16.0%	4.8	6.3%	0.4	0.0%	4.5	6.3%	-6.3	15.0%	-0.7

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で85.3%と大半を占めており、「製造業」「小売業」「飲食業」「宿泊業」においても90%前後の割合で影響があると回答した。

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、88.9%であった。（対前期比3.1ポイント低下）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、66.7%であった。（対前期比17.3ポイント低下）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、93.3%であった。（対前期比5.8ポイント上昇）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、95.5%であった。（対前期比4.5ポイント低下）

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、100%であった。（対前期比6.2ポイント上昇）  
全業種の中、で一番多く「影響がある」と指摘する経営者の率が高い。

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化。

1	コロナも収まり 徐々に景気の回復傾向に有る（製造業・日高）
2	先年は政府の緊急コロナ対策資金や既存借入の返済を3年間先延ばしの政策により資金繰りは楽であったが、通常の返済が始まる今年度からはたちまち苦しくなる。（小売業・日高）
3	値上がりしたままの材料費が高止まりのまま、さらに上がろうとしている。（建設業・日高）
4	すべての資材が高騰している中、何度も値上げ要請によりお客様からその要請を拒否されている傾向がある（製造業・日高）
5	前回同様、いつまで続く値上げ といった感じです。その時々適正価格で見積もりし、受注するも、実際仕入れるチキには値上がりしている状況がエンドレスで続いている。利益幅を圧縮しているが受注高の状況でカバーしている現状。（建設業・竹野）
6	仕入金額の上昇率が急激に高騰している（建設業・出石）
7	いつ何が上がるかわからず、上がったものは下がることはない。上げ率も今までの上がり幅とは大きく違い、値上げの品目も多すぎて、把握するのが難しいほど。かといって商品の単価を上げるのは難しく、非常に厳しい状況。その上、人手不足、人件費アップでどうしようもない状況。（飲食業・城崎）
8	ほとんどのものの仕入れ価格が上がっているが売値に転嫁できない。（飲食業・城崎）
9	食材、資材は1割～2割価格上昇。特に輸入食材は最大5割の価格高騰です。卵不足につづきバター不足で不足＝価格上昇という状況です。卵は、この1年間で3回値上がりしました。（小売業・出石）
10	仕入価格が上昇し原価率が上がっているが、販売価格に転換できない。また、電気代も上昇し、暑い夏を迎えるのに、光熱費がかなりの負担となる。（飲食業・出石）
11	為替が再び1ドル140円に達する円安の状態になり、輸入仕入の材料が高騰しており、価格競争や採算性へ好ましくない影響が出ています。（製造業・日高）

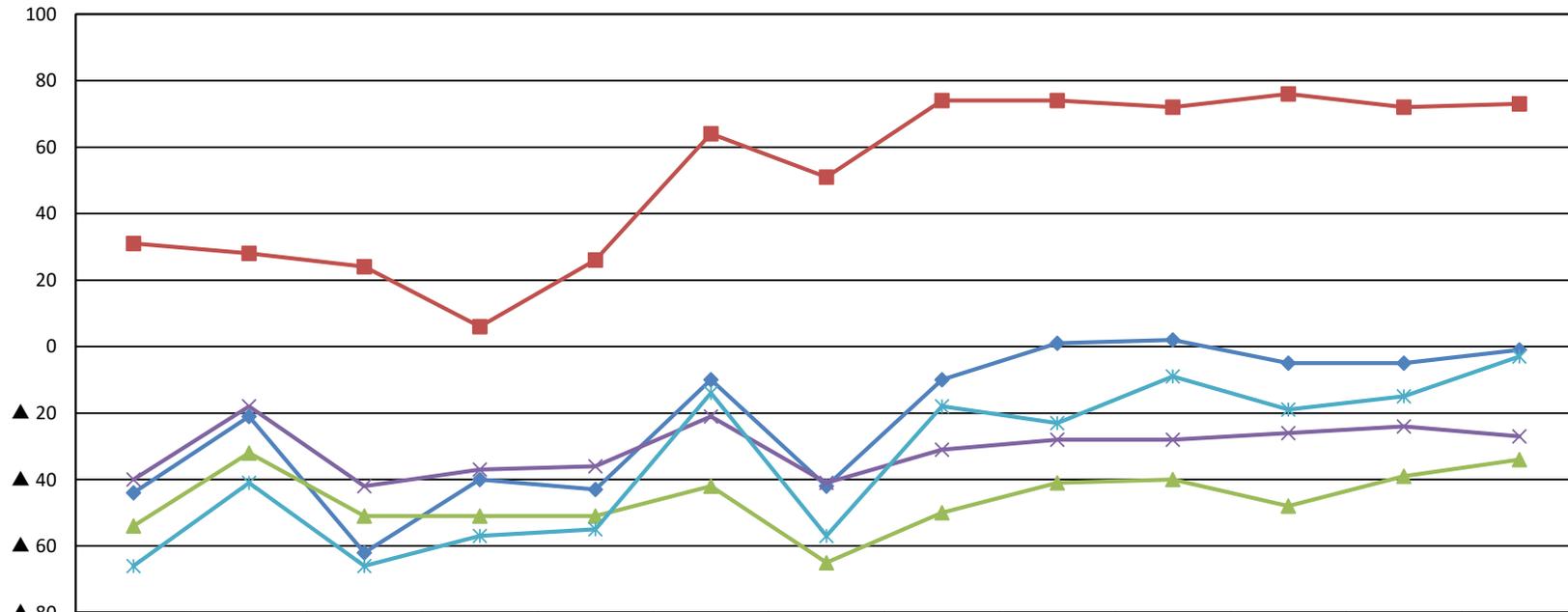
12	コースの維持管理が天候により薬品関係に資金がかかる。（サービス業・日高）
13	仕入単価がじわじわと上がっている。（宿泊業・日高）
14	全国旅行支援に参加しておらず、週末コテージ予約が減っている。燃料費、物販の仕入価格高騰が厳しい影響大（サービス業・日高）
15	原材料価格の高騰が著しいものの、その全てを受注単価に反映できません。（製造業・出石）
16	一つの商品を作るのに5つの要素があるとして、一つ一つが値上がりに踏み切ると5段階の値上がりがあることになる。しばらく仕入れの値上がりは止まる気がしない。（小売業・城崎）
17	円安の影響で材料費が高騰している。販売価格も上げられない。（製造業・日高）
18	これまでにない頻度で仕入れ価格上昇の依頼を受けており、弊社においても価格改定に取り組みざるを得ない仕入価格が安定していない状況では現状維持に注力しなければならず、将来へ向けた前向きな取り組みが疎かになっていると感じる。（製造業・出石）
19	価格高騰により消費が減少している。（小売業・城崎）
20	変化は今のところわからない。（飲食業・但東）

【9】自由コメント

1	新しいニーズ、用途開発も進めていきたい（製造業・日高）
2	とにかく先が見えない状況。コロナ明け全体が動き出しいろいろと元に戻る様相ですがギフト業界は依然先が見えない。（小売業・日高）
3	コロナ禍が落ち着き、活動が活発化されつつあるので、今後は好景気に転じてほしいという希望的観測が大きい、反面ウクライナ侵攻や円安傾向は変わらず、それに伴い値上げもおさまる兆しが無く、すんなり好景気に成るか余談を許さず。（建設業・竹野）
4	外国人の購入客が増加している。日本人の購入は少ない。（小売業・城崎）
5	コロナが終わって社会経済が動き出すことで人手不足の状況は加速し、人材の奪い合いが始まっているかと思います。労働者にとっては選択肢が増えて良いかもしれませんが、経営側にとってはより厳しい状況がますます進行していくのではと予想します。（日高町・製造業）

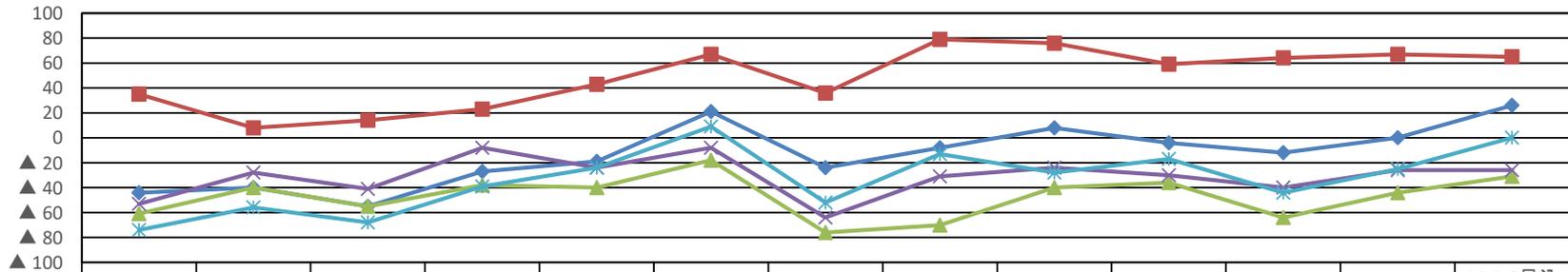
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



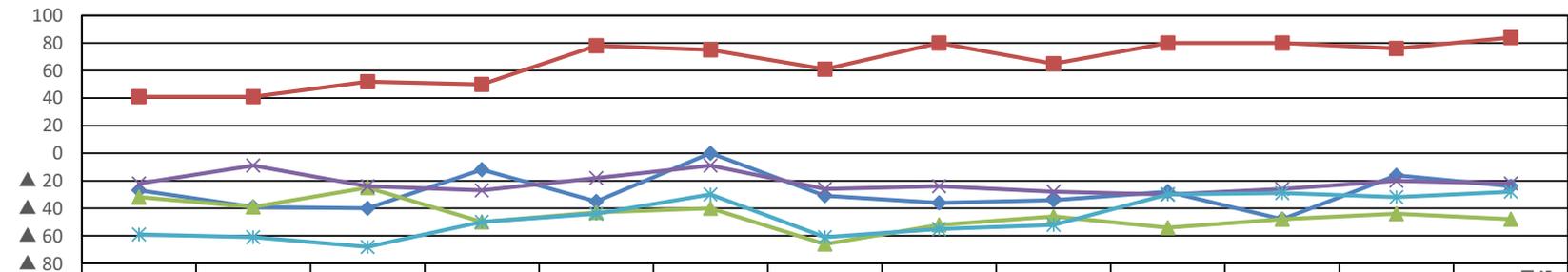
	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1
■ 仕入単価	31	28	24	6	26	64	51	74	74	72	76	72	73
▲ 採算性	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 34
× 資金繰り	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 27
* 景況感	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 3

### 製造業DI推移



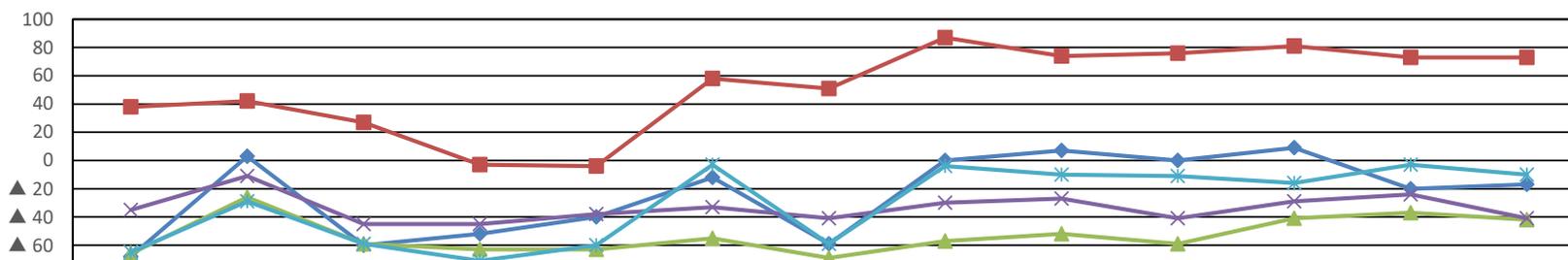
	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 44	▲ 40	▲ 55	▲ 27	▲ 19	21	-24	▲ 8	8	▲ 4	▲ 12	0	26
■ 仕入単価	35	8	14	23	43	67	36	79	76	59	64	67	65
▲ 採算性	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 31
✕ 資金繰り	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 26
✧ 景況感	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	0

### 建設業DI推移



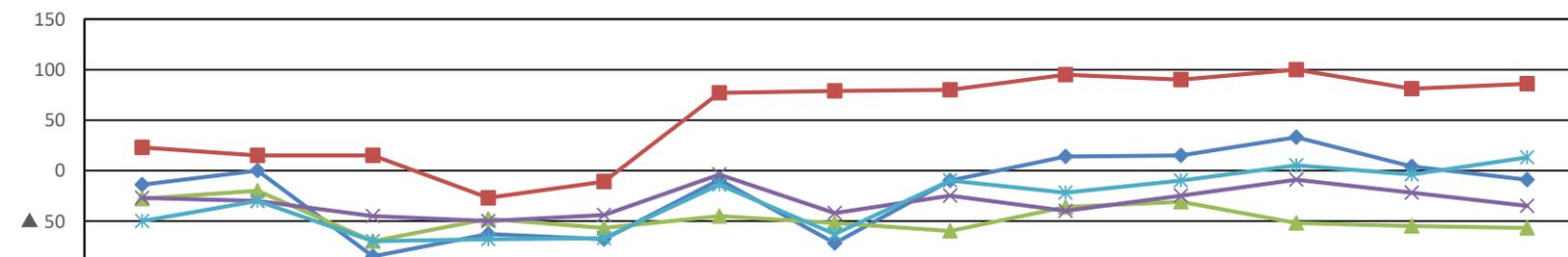
	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 24
■ 仕入単価	41	41	52	50	78	75	61	80	65	80	80	76	84
▲ 採算性	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48
✕ 資金繰り	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 22
✧ 景況感	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 28

### 小売業DI推移



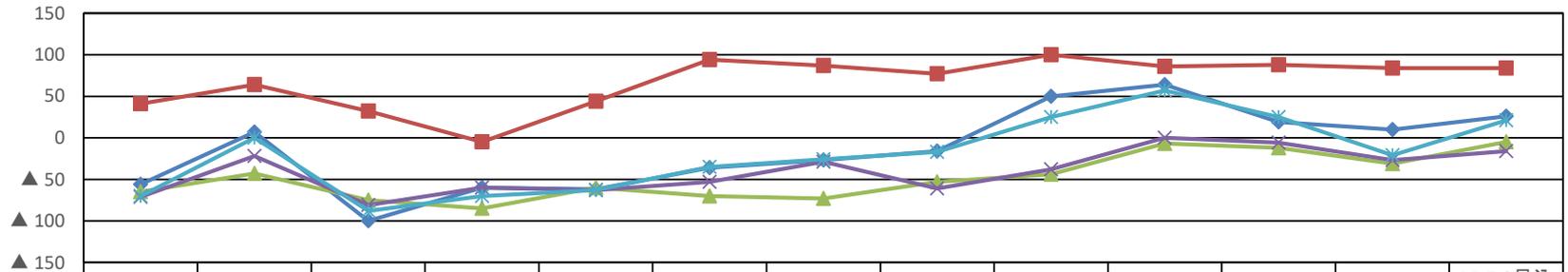
	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 17
■ 仕入単価	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	81	73	73
▲ 採算性	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 42
× 資金繰り	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 41
* 景況感	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 10

### 飲食業DI推移



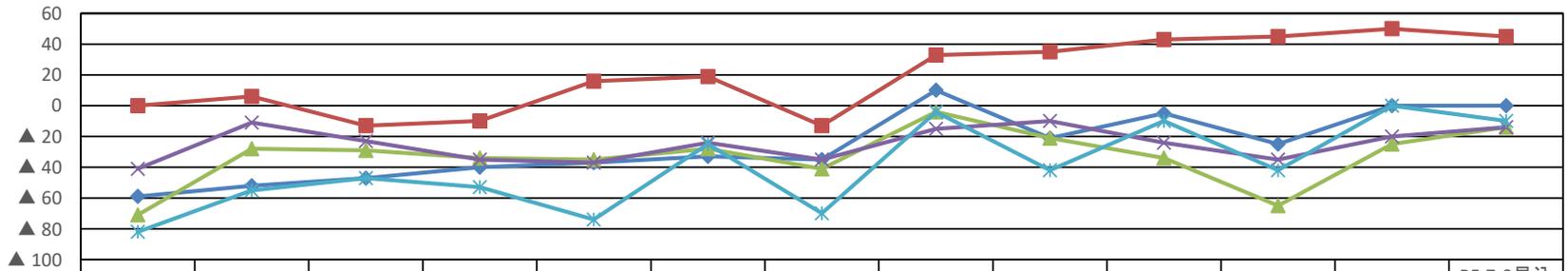
	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	▲ 9
■ 仕入単価	23	15	15	▲ 27	▲ 11	77	79	80	95	90	100	81	86
▲ 採算性	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 57
× 資金繰り	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 35
* 景況感	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	13

### 宿泊業DI推移



	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 56	7	▲ 100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	-16	50	64	19	10	26
■ 仕入単価	41	64	32	▲ 5	44	94	87	77	100	86	88	84	84
▲ 採算性	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 5
× 資金繰り	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 16
✧ 景況感	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21

### サービス業DI推移



	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9見込み
● 売上高	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	0
■ 仕入単価	0	6	▲ 13	▲ 10	16	19	-13	33	35	43	45	50	45
▲ 採算性	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 14
× 資金繰り	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 14
✧ 景況感	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 10